

## 4-③ いざ！避難所へ

■対象：30～40代 ■人数：20人 ■時間：80分程度 ■手法：ラベルワーク＋ランキング

学習のねらい 避難所で必要なことやものを出し合うことで、災害への備え・心構えを具体的に考えることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>自然災害はいつ起こるかわかりません。今日は、避難所を想像してワークを進めてもらいます。思いついたアイデアを自由に出し合って、避難所で必要なことを考えましょう。 それでは、少し心と体をほぐしましょう。</p>		
15分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① 後だしジャンケン ② せーのパン！ ③ 自己紹介 ・無人島に行くときに持っていきたいものベスト3</p>	<p>・自己紹介では、緊急時に必要なものをイメージして、中心のワークにつなげる。</p>	
55分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 避難所生活を行う中で、必要だと思ふことを付箋に書く [10分]</p> <p>② グループで意見を出し合い、模造紙にはりながら島をつくる [15分]</p> <p>③ 島を整理して見出しをつける [13分]</p> <p>④ ③で作った島に、優先順位をつけ、島ごとの見出しの横に数字を書く [7分]</p> <p>⑤ グループで話し合ったことを代表者が発表する [10分]</p>	<p>・箇条書きでもよいので、思いついたことを書くように伝える。 (キーワードで良い)</p> <p>・1つの付箋に1つの内容を書く。</p> <p>・似ているキーワードを近いところに置くようにする。</p> <p>・なぜ、その順位になったのかその理由も含めて模造紙に記録する。</p> <p>・同率順位になる場合には、特にその理由を大切に扱う。</p>	<p>付箋 サインペン</p> <p>模造紙</p> <p>色マーカー</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 災害に対する備えを意見交換する中で、次回、学習したいことをグループ内で話す</p>	<p>・ランキングを参考に、次にやりたいこと、学びたいことを具体的にあげるように促す。</p>	
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。順位をつけることは難しかったのではないのでしょうか。ただ、ここで考えておくことが災害時の備えにつながると考えます。 さまざまな視点から避難所においてとるべき行動を考えることができました。互いの思いを尊重し合える地域をつくっていきましょう。</p>		